

東証プライム

証券コード：3099

丸の内投資セミナー

2023年6月10日



三越伊勢丹ホールディングス



目次

1. 会社概要
2. 当社の戦略について
3. 経営基盤

会社概要



2023年4月1日時点

※株式情報については23年3月31日時点

機関設計

指名委員会等設置会社

代表者

取締役 代表執行役社長CEO 細谷 敏幸

資本金

510億円

会社設立

2008年(平成20年)4月1日

店舗数

国内店舗20店舗、海外店舗26店舗

グループ従業員数

約1万8,000人

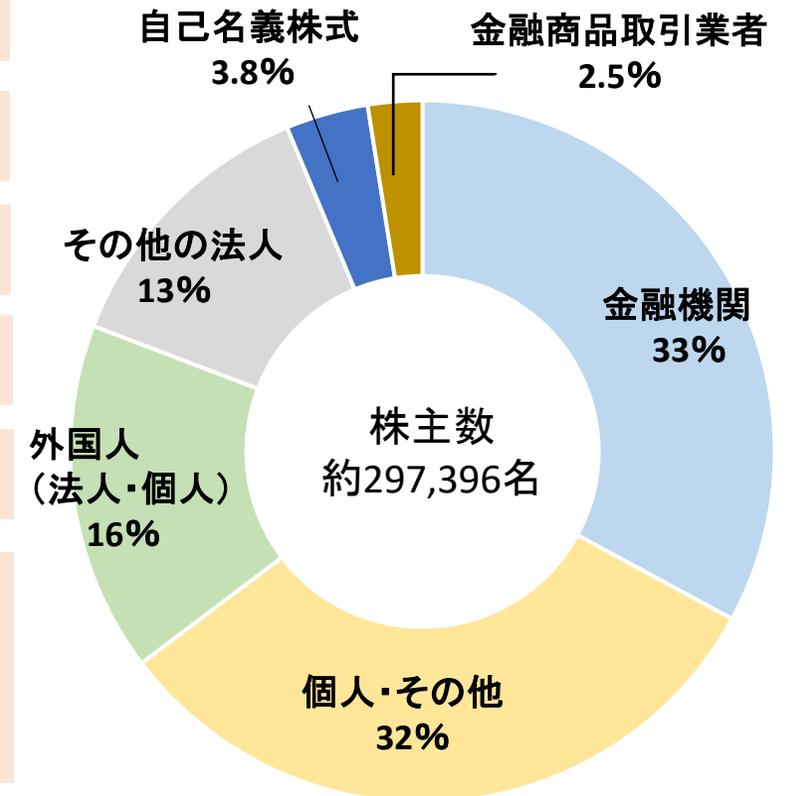
株式の状況

発行可能株式総数 1,500,000,000株

発行済株式総数 396,931,154株

※内、自己株式数 15,048,154株

所有者別持株比率



会社概要



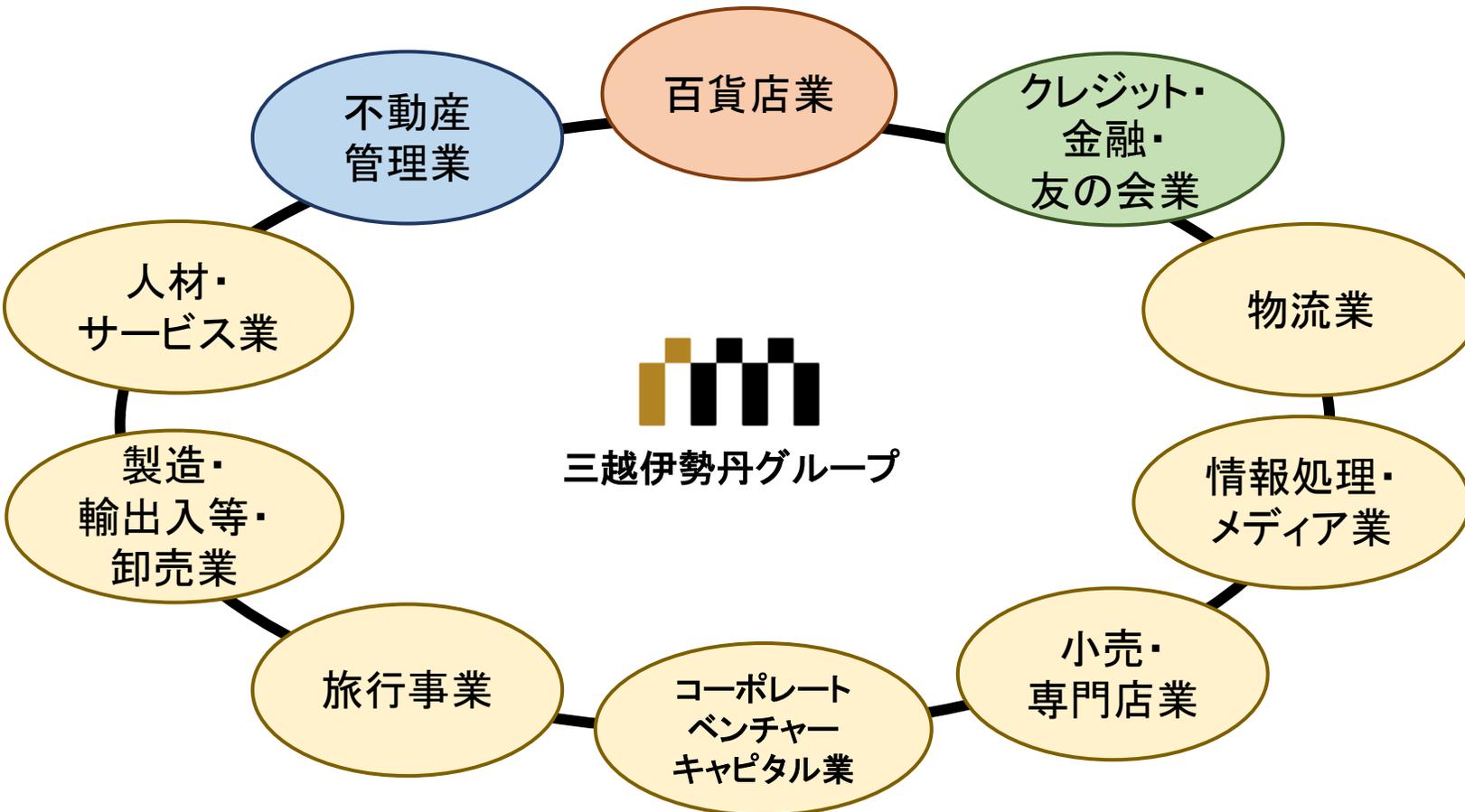
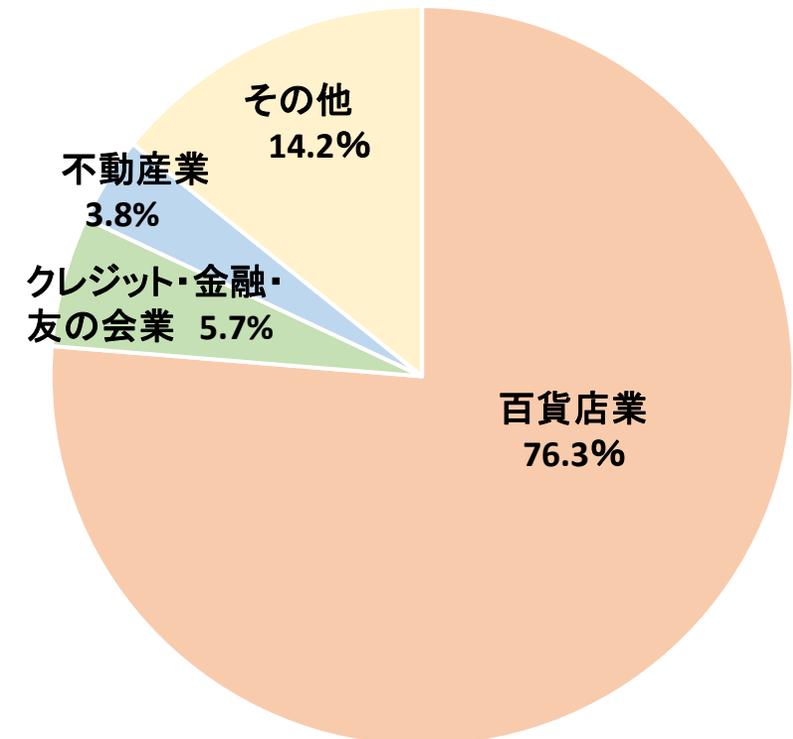
グループ会社数

連結子会社37社、持分法適用会社7社

主な事業内容

百貨店業、クレジット・金融・友の会業、不動産業、その他の事業

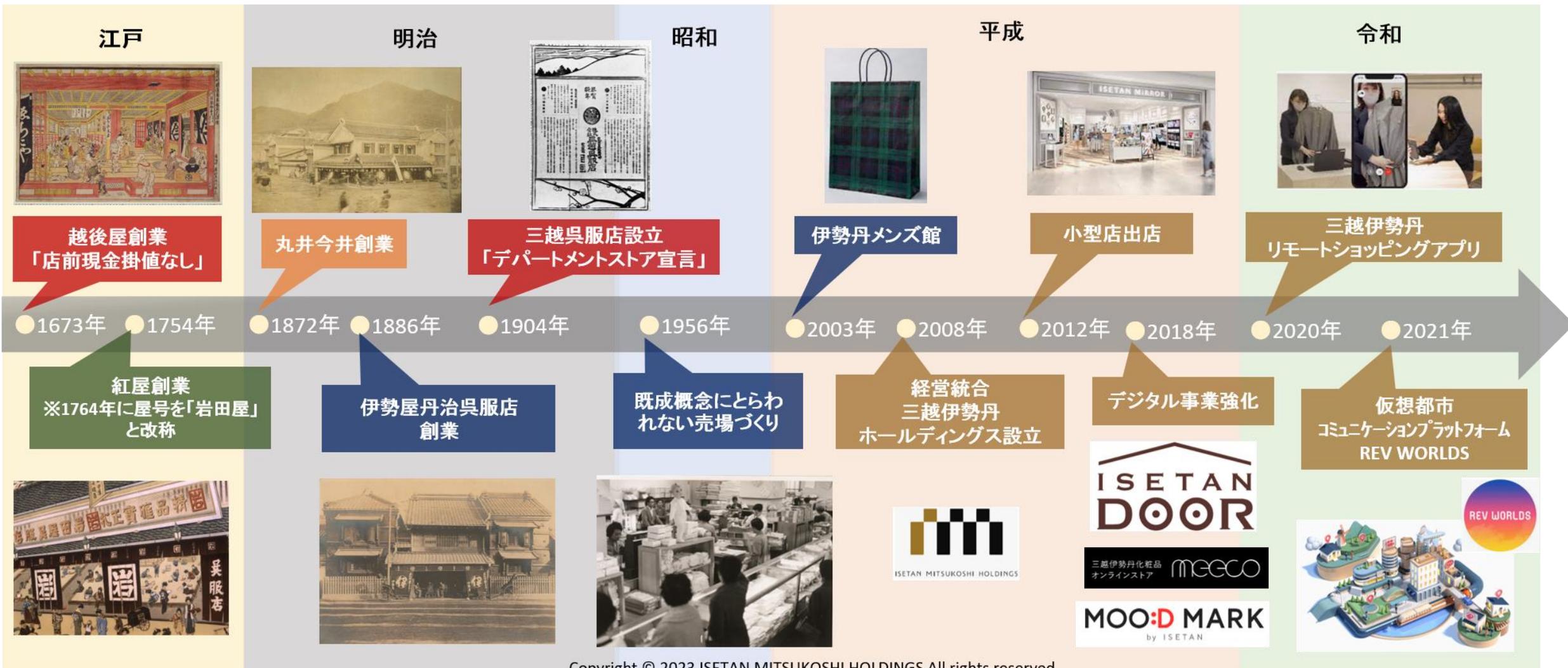
売上高構成比



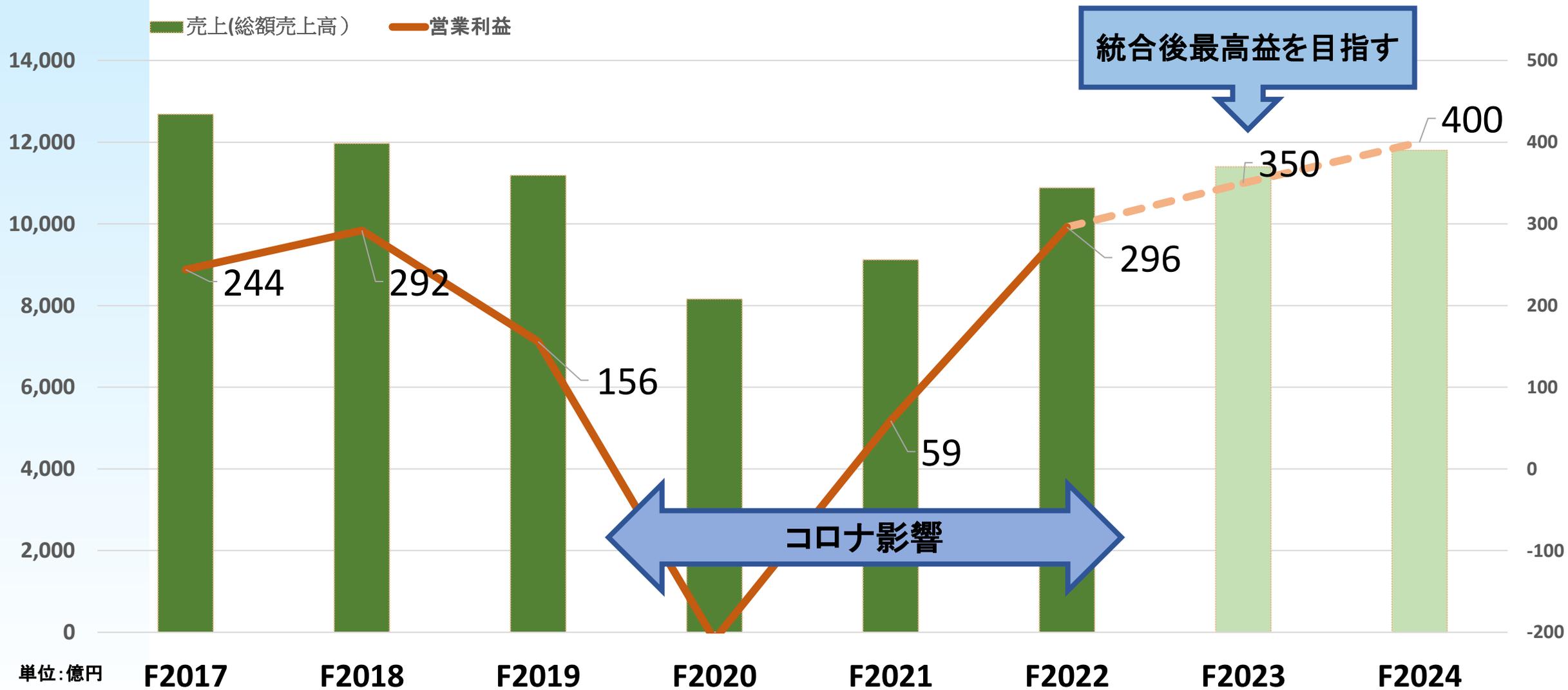
グループの歩み



三越伊勢丹グループは4つの百貨店のれん(三越・伊勢丹・岩田屋・丸井今井)で、創業以来、「お客さま第一の下に、社会や顧客ニーズの変化を先取りし、お客さまに豊かさを届け続ける、そして自ら変革していく挑戦の精神」を培ってまいりました。



連結業績推移



2022年度(2023年3月期) 連結業績結果



- 総額売上高は1兆円を回復
- 営業利益は増収と経費構造改革の両面によりコロナ前※を超える ※コロナ前=2018年度
- 当期純利益は前年を大きく上回る300億円を超え

(単位：億円)	実績		
		前年比	前年差
総額売上高	10,884	119.3%	+1,763
売上高	4,874	116.5%	+690
売上総利益	2,865	117.6%	+428
販売管理費	2,569	108.1%	+191
営業利益	296	—	+236
経常利益	300	—	+204
当期純利益	323	—	+200

2023年度(2024年3月期) 連結通期計画



- ・ 総額売上高は識別顧客拡大とインバウンドの回復により、更なる伸長
- ・ 販売管理費は適切に管理
- ・ 営業利益は統合後最高の350億円を計画

(億円)	通期	前年差	前年比
総額売上高	11,400	+515	104.7%
売上高	5,100	+225	104.6%
売上総利益	3,010	+144	105.0%
販売管理費	2,660	+90	103.5%
営業利益	350	+53	118.2%
経常利益	370	+69	123.3%
当期純利益	280	▲43	86.5%

企業理念・目指す姿



23年4月より新たに「三越伊勢丹グループ企業理念」を制定いたしました。

全社員が参加した策定プロセス

個人

グループ全社員参加によるアンケートの実施
個人のミッション・バリューズと、グループのミッションについて設問
回答人数:14,000名余 回答率:100%

グループ

所属を越えた様々な仲間や、経営陣との対話会の実施
実施回数:1,600回以上 延べ:約1,700時間

経営と従業員の対話を何度も反復

経営陣

プロジェクトメンバーによるワークショップを実施
参加人数:28名

人の力の最大化（人的資本）

三越伊勢丹グループ 企業理念

VISION

私たちが目指す姿

お客様の暮らしを豊かにする、
“特別な”百貨店を中核とした
小売グループ

～日本の誇り、世界への発信力を持ち、
高感度上質消費において最も支持される～

VALUES

私たちが大切にしている思考と行動

新しさに惹かれ、美しいものに感動し、それを伝えたいと思う

人が好きで、あふれる笑顔を響かせ、まわりを明るくする

魅力あふれる個性で、斬新なアイデアを生かし、共創をもって形にする

あらゆる情報を駆使し、感性とともに考えぬき、オンリーワンをつくる

常に真摯な姿勢で、健全な方法を選択し、社会的責任を果たす

変化の先の未来を信じ、勇気をもって、挑戦と努力をしつづける

MISSION

私たちの存在意義

こころ動かす、
ひとの力で。

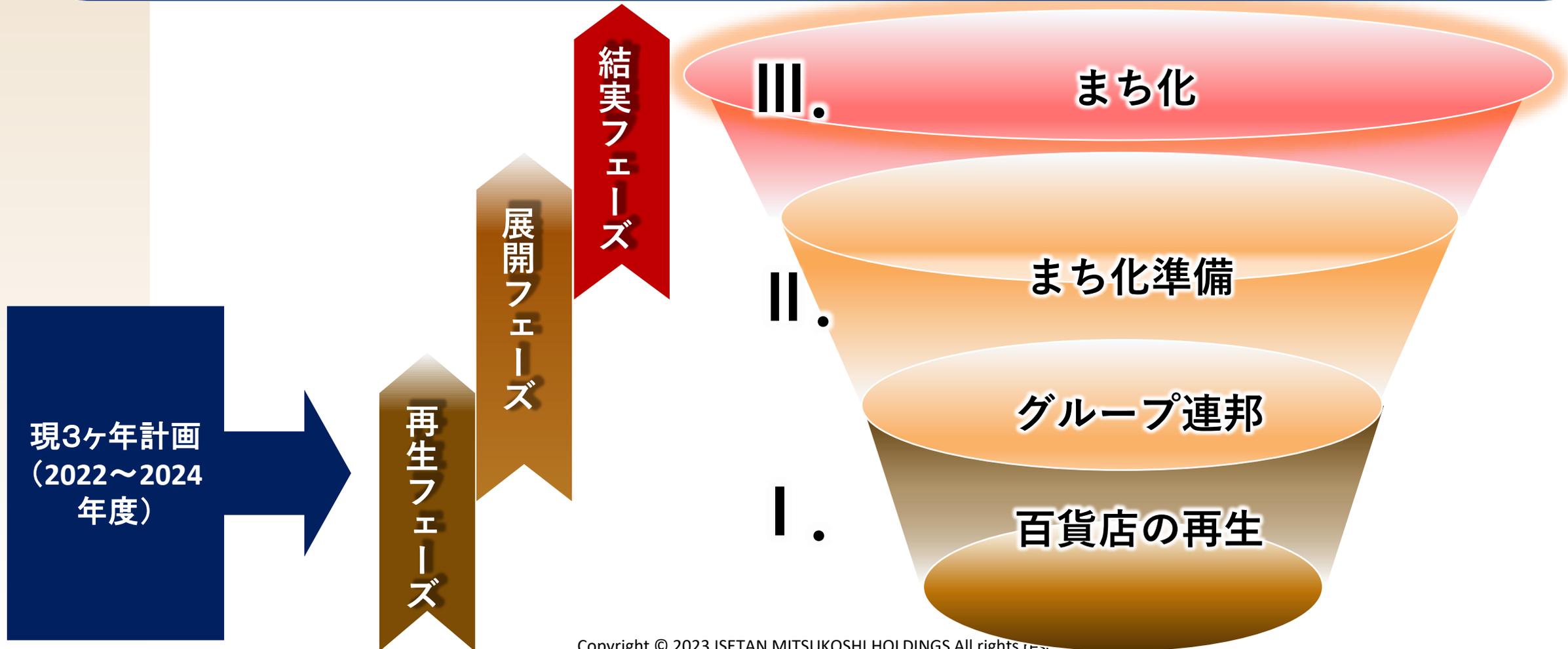


「三越伊勢丹グループ企業理念」を
表現した映像をご紹介します。

三越伊勢丹グループ中長期経営計画



お客さまの暮らしを豊かにする
“特別”な百貨店を中核とした小売グループ





両本店を「憧れと共感」の象徴へ



伊勢丹新宿本店

“ファッション”で唯一無二



三越日本橋本店

“伝統・文化芸術・暮らし”を強み

<百貨店の再生>



伊勢丹新宿本店売上高 年度別推移

2008年度～2022年度



拠点ネットワーク



両本店の商品・サービスを
各拠点にて連携



個客とつながるCRM



識別顧客を増やし、「繋がる個客」を拡大していきます。

以前は

マス訴求による来店



これから

「個客別」に様々な繋がり方



外商・アテンダント



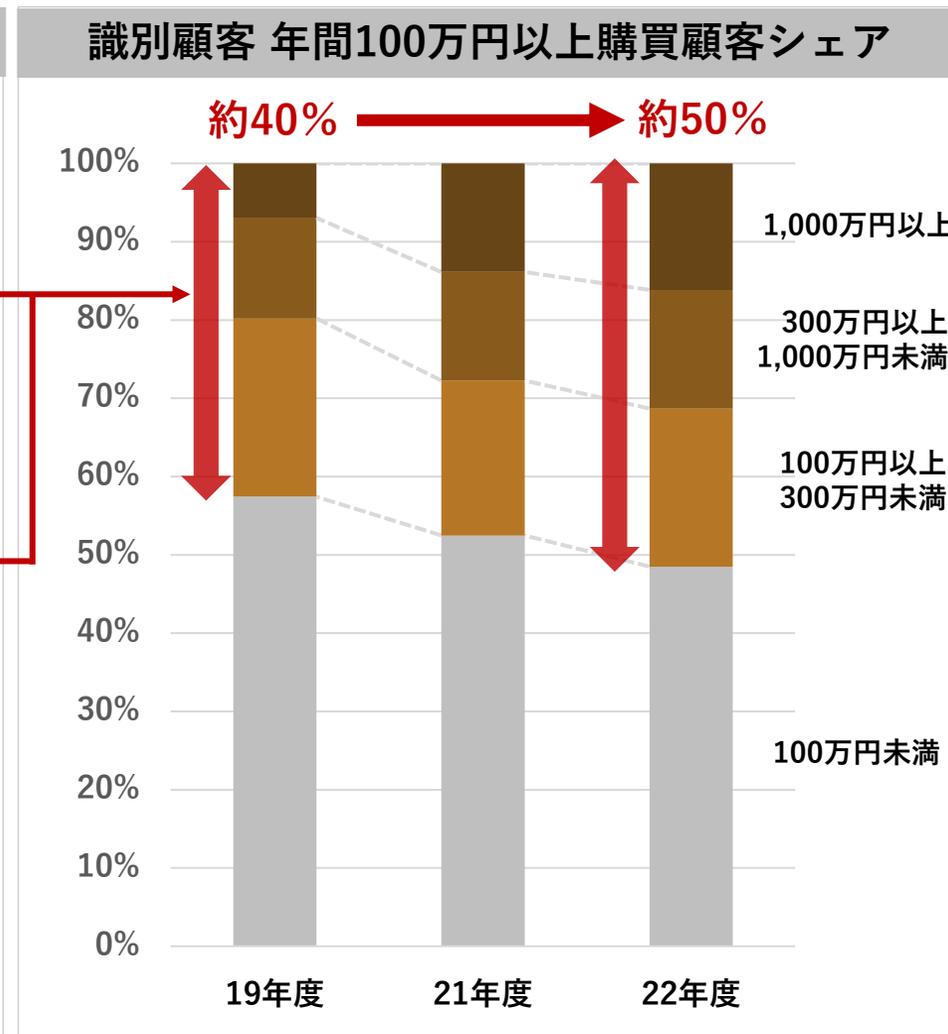
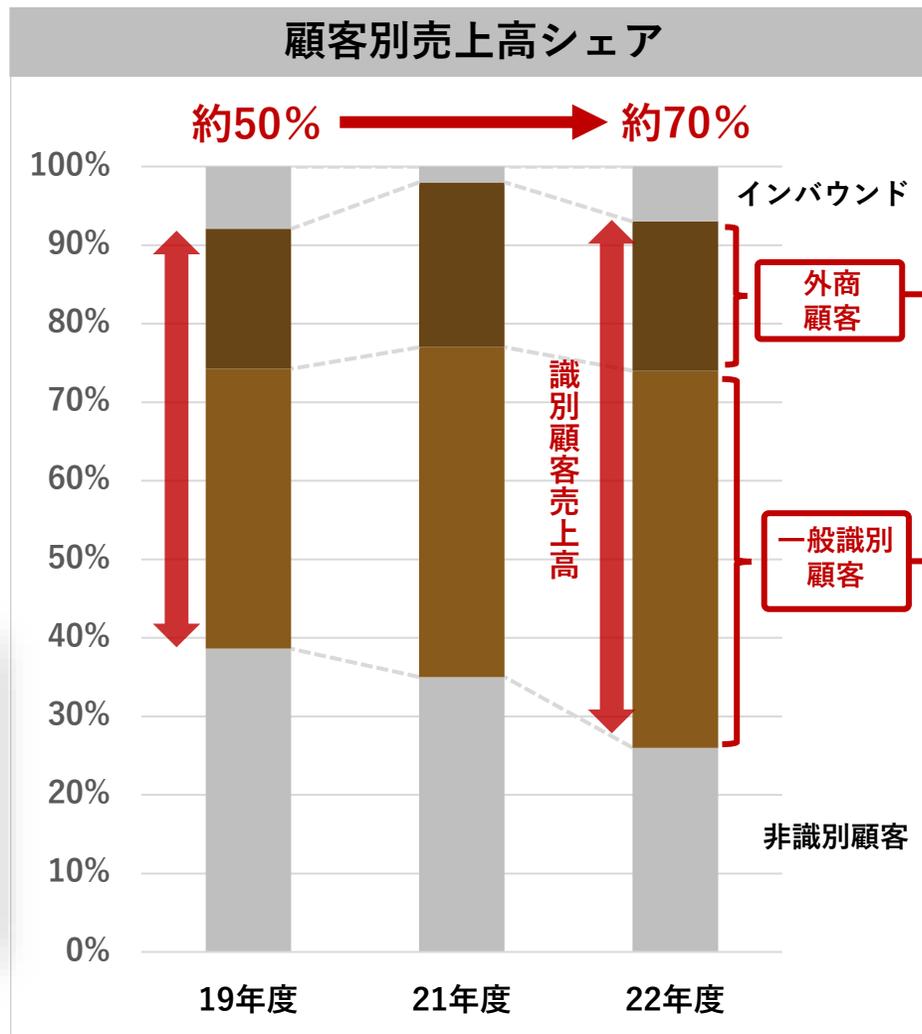
リモート・デジタルショッピング



個客とつながるCRM



識別顧客数590万人
(前年比114%)





グループ各社が、継続的に収益獲得につながる仕組みを構築

【タイプ1】

ビジネスプロセス
インソーシング

【タイプ2】

B2B外販

【タイプ3】

ワンパッケージ提案

内製化

新たな
収益の獲得

独自性
特徴の発揮



【タイプ2】 B2B 外販事例

三越伊勢丹°パティ・デザイン



photo : Nacasa & Partners

オフィスや店舗の内装全般

スタジオアルタ



ビジョンへの広告掲出

三越伊勢丹ビジネスサポート



物流業務

エムアイフードスタイル



卸売り



自動販売機受託

まち化戦略



当社ならではの提供価値

組み合わせ

百貨店由来ならではの、
高感度上質なブランドやキャラクター

ひととデジタルによるハイタッチなサービス

行き届いたきめ細かいバックグラウンド



複合用途

(買物する)

(泊まる)

(働く)

(住む)

(楽しむ)

.....

組み合わせ



三越伊勢丹システム・ソリューションズ



三越伊勢丹アイムファシリティーズ



三越伊勢丹ビジネス・サポート



百貨店
複合用途



三越伊勢丹プロパティ・デザイン



スタジオアルタ



三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ



エムアイカード

サステナビリティ



重点取組み (マテリアリティ)

(E) : 環境 (S) : 社会 (G) : ガバナンス

重点
取組

①持続可能な社会・時代をつなぐ (E)

脱炭素社会に向けて

循環型社会に向けて

サプライチェーン・マネジメント

②人・地域をつなぐ (S)

文化・伝統の振興・継承

地域社会との協創

未来を拓く「人とのつながり」

③従業員満足度の向上 (S)

コミュニケーション・対話風土の醸成

ダイバーシティ & インクルージョンの推進

ライフワークバランスの実現

生涯CDPの推進

主な
取組み
項目

グループガバナンス・コミュニケーション(G)

コーポレート・ガバナンス

リスクマネジメント

コンプライアンス

参画しているイニシアティブ/社外からの評価



参画しているイニシアティブ	概要	備考
TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 	FSB(金融安定理事会)により設置された、企業に対して年次報告において、財務に影響のある気候関連情報の開示を求めるもの	2021年11月 賛同
国連グローバル・コンパクト 	国連が提唱する人権・労働・環境・腐敗防止の4分野に関する10原則で構成されている理念	2023年3月 署名

ESG投資インデックス	評価機関	概要	備考
SOMPOサステナビリティ インデックス 	SOMPOアセットマネジ メント(株)	ESGに優れた取り組みを行う、約300社が構成銘柄に選定され、同社の「SOMPOサステナブル運用」に活用される	2022年度 構成銘柄
MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) 2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)	MSCI社 (モルガン・スタンレー・ キャピタル・インターナ ショナル社)	MSCI社が新たに開発した性別多様性スコアに基づき、業種内で性別多様性に優れた企業を選別して構築。MSCI ESGリサーチが非常に深刻な不祥事を起こしている、あるいは人権や労働者権利において深刻な不祥事を起こしていると評価する企業は対象外になる。	2022年度 構成銘柄
MSCI日本株女性活躍指数 (セレクト)			2022年度 構成銘柄
FTSE Blossom Japan Relative Index 	FTSE Russel社	各セクターにおいて相対的に、ESGについて優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計。また、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れている。	2022年度 構成銘柄

ESGへの取り組み（環境）



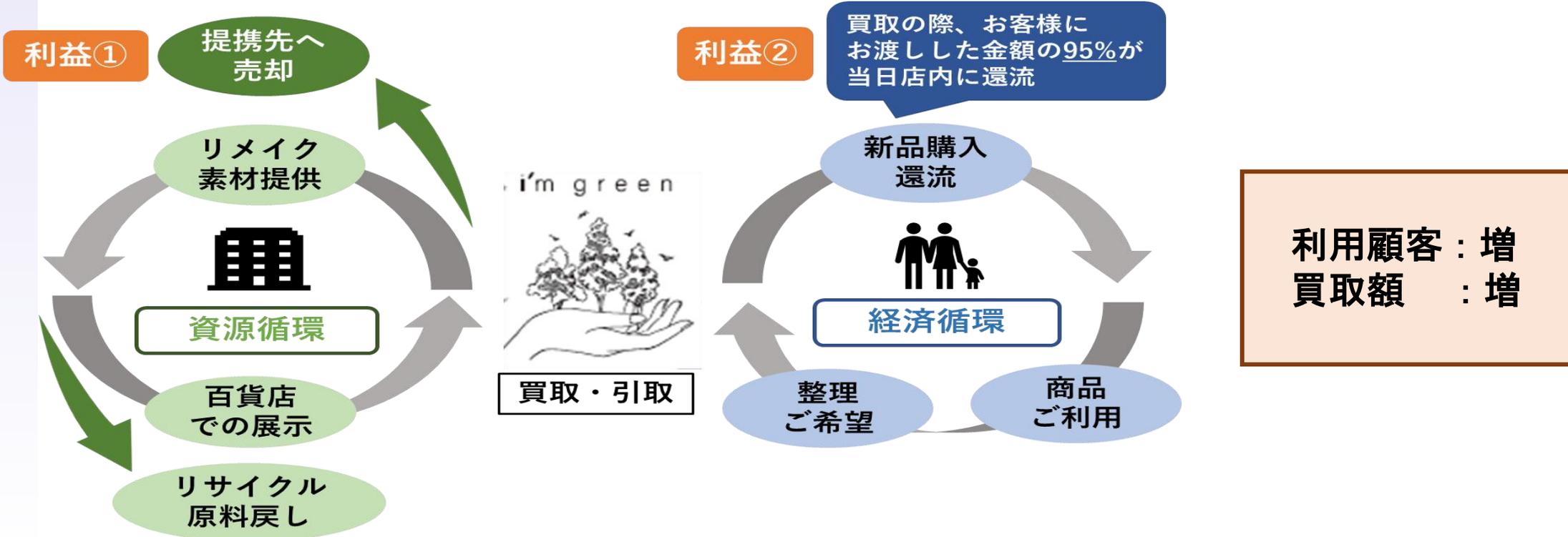
持続可能な社会・時代をつなぐ

①循環型社会に向けて

事例組

<i'm green (アイムグリーン)> 2021年10月～事業開始(現在首都圏の3店舗で開設)
(株)三越伊勢丹の自主運営による経済と環境の両輪の循環を目指した買取・引取サービス(直営では百貨店初)

ビジネスモデル



ESGへの取り組み（社会）



「人・地域をつなぐ」

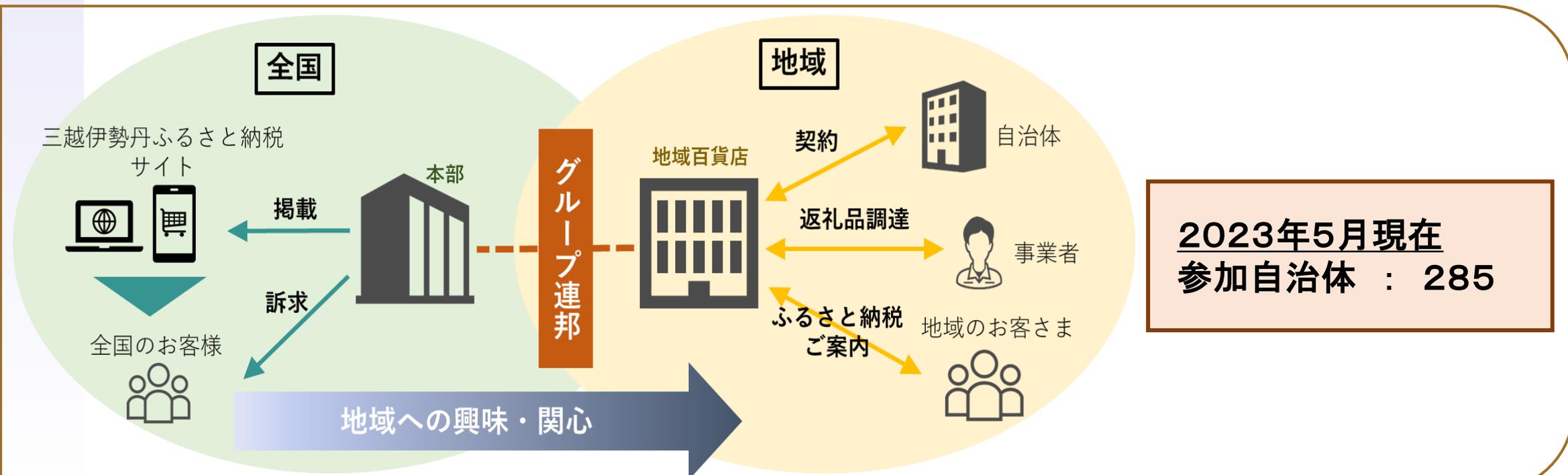
地域社会との協創に向けて

事例組

＜三越伊勢丹ふるさと納税＞ 2019年～事業開始

地域をよく知る百貨店バイヤーが、地域活性化・地域創生につなげるため、地域の優れた商品を発掘し、紹介する「ふるさと納税事業」

ビジネスモデル



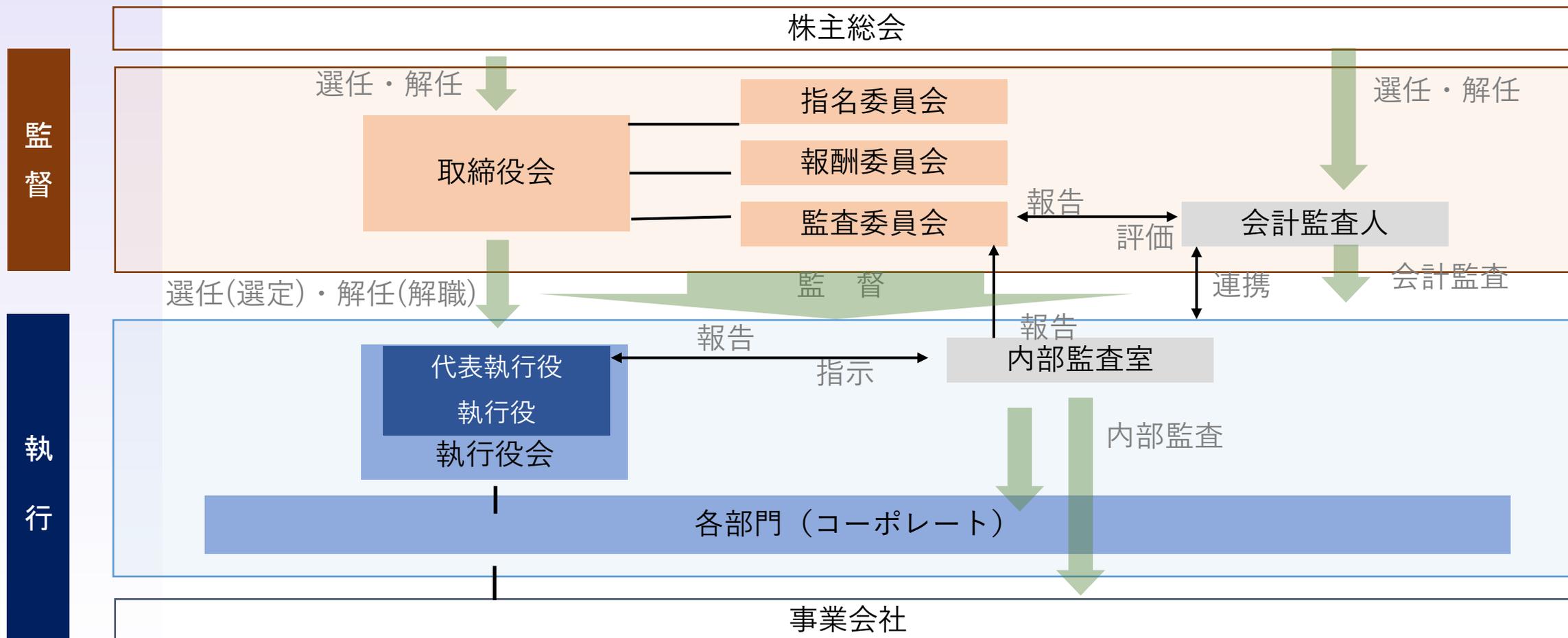
2023年5月現在
参加自治体 : 285

ガバナンス体制



2020年6月より指名委員会等設置会社に移行し、経営の意思決定の迅速化、経営監督機能の強化などに継続的に取り組んでいます。

取締役会は過半数が社外取締役で構成し、議長も社外取締役が務めています。

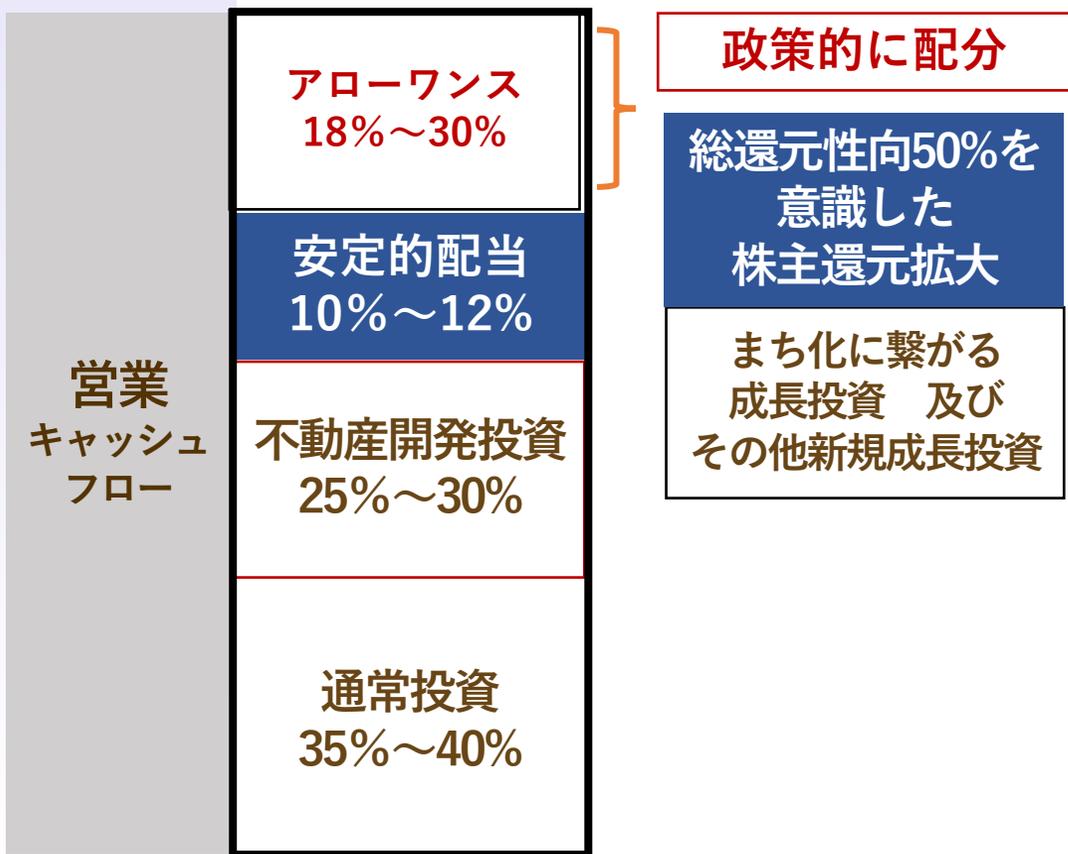


資本政策・株主還元

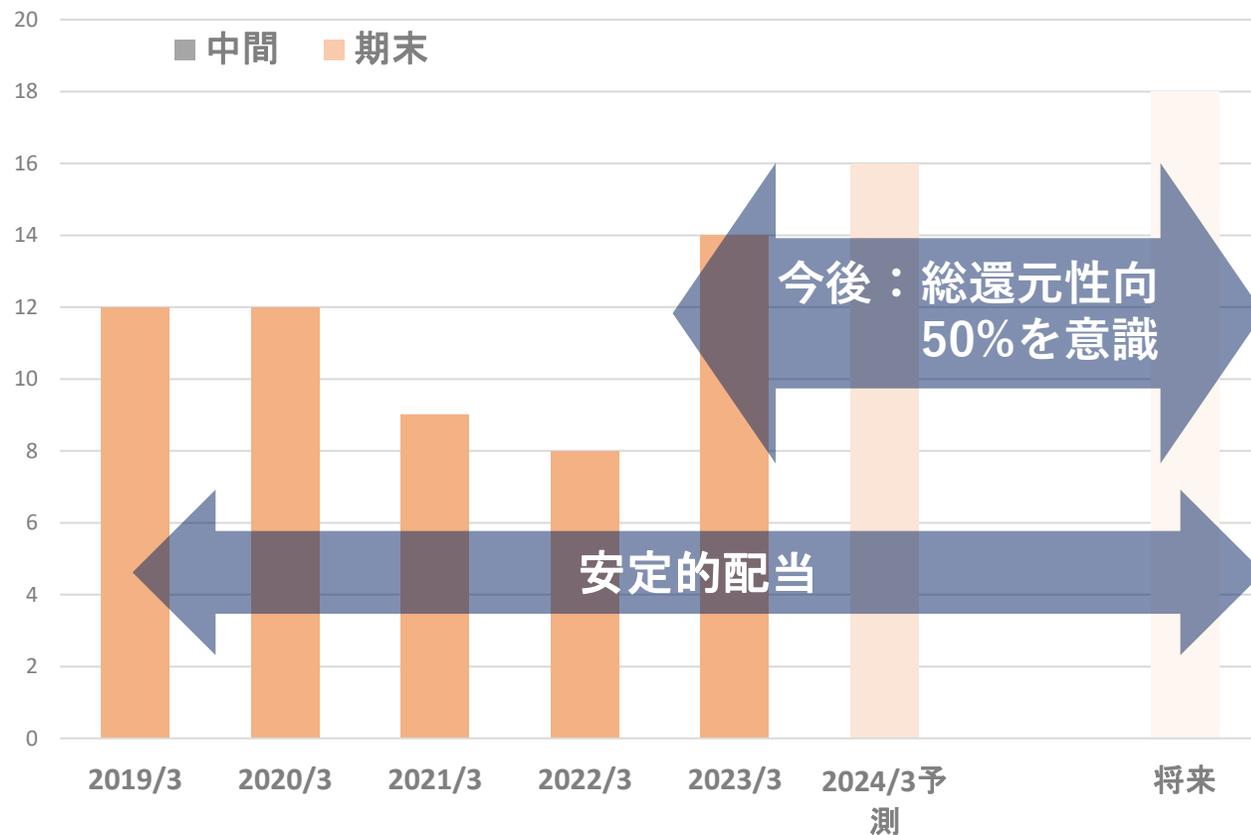


安定的配当水準の維持、利益成長にあわせた中長期的な増配に加え、自己株取得を組み合わせたトータルな還元を、総還元性向50%の水準を意識してまいります

10年キャッシュフロー計画



配当金の推移



株主優待制度



株主様向けに優待制度を設けております

主な特典

- ①三越伊勢丹グループ各店舗でのお買い物やご飲食代金をご利用限度額の範囲内で**10%**割引
- ②当社グループ会社、提携施設におけるご優待

保有株式数別優待サービス付与（年1回）

保有株式数		ご利用限度額
100株以上	300株未満	30万円
300株以上	500株未満	40万円
500株以上	1,000株未満	50万円
1,000株以上	3,000株未満	100万円
3,000株以上	5,000株未満	150万円
5,000株以上	10,000株未満	200万円
10,000株以上		300万円





続きまして、
当社グループの企業理念を表現した
動画をご覧ください。



三越伊勢丹ホールディングス

本資料における情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。この事項は、当社が開示時点で入手可能な情報に基づき合理的に判断した予想であり、様々なリスクや不確実性を含んでおります。従って、実際の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の要因により見通しと異なる可能性があります。